

商工中金経営改革プログラム

「経営支援総合金融サービス事業」を展開

～持続可能な
ビジネスモデルの確立に向けて～

人を思う。
未来を思う。

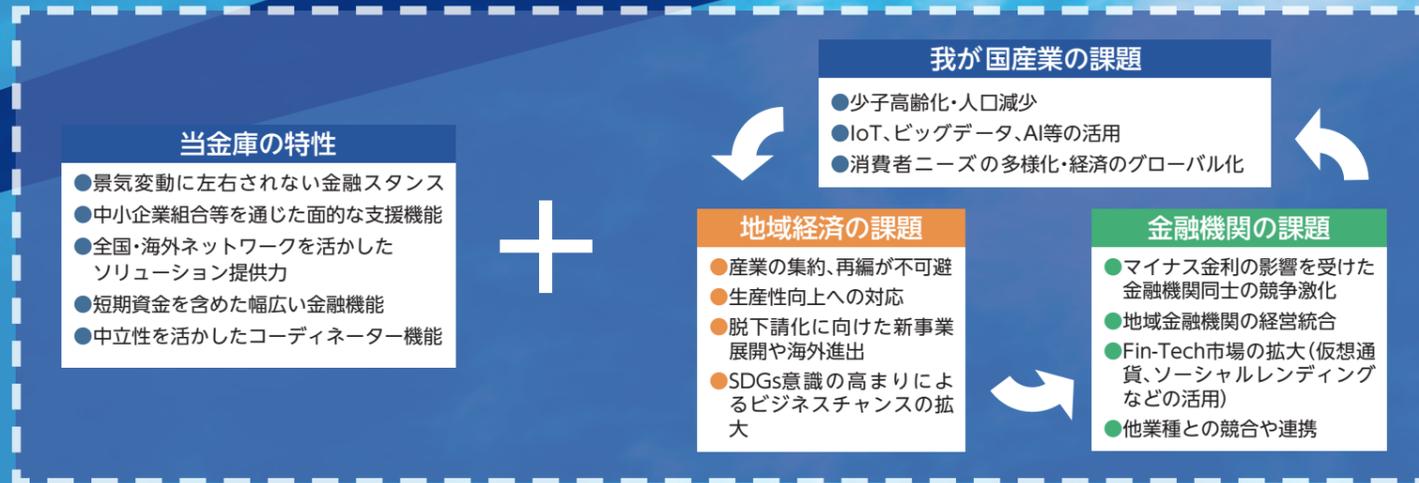


重点分野の貸出残高		目標とする経営指標	
A	1兆6,000億円	業務粗利益	1,150億円程度
B	9,600億円	業務純益	460億円程度
C	3,500億円	当期純利益	175億円程度
D	2,000億円	OHR	60%程度
合計	3兆1,100億円		

(※) 2021年5月18日に公表いたしました2021年度予想値については5ページに記載しております。

2020年度実績

重点分野の貸出残高		主な経営指標	
A	9,758億円	業務粗利益	1,054億円
B	1兆297億円	業務純益	329億円
C	2,640億円	当期純利益	87億円
D	615億円	OHR	69%
合計	2兆1,376億円		



Contents

- トップメッセージ…………… 2
- ビジネスモデルの
実現に向けて…………… 4
- 財務ハイライト…………… 29
- 適正な業務運営の仕組み…………… 34
- 財務データ…………… 61
- 自己資本の充実の状況等…………… 109
- 報酬等に関する開示事項…………… 174
- ディレクトリー…………… 178

ビジネスモデルを支える 仕組み

▶ 持続可能な資金調達方法の確立	● 募集債の販売推進 ● 法人預金の受入推進	● リテール預金の非対面取引推進と キャンペーンの分散化
▶ 経営の合理化	● 営業窓口業務の生産性向上 ● バックオフィス業務の見直し	● 店舗機能の見直し ● 人員・コストの最適化 ● リソースの再配分
▶ 態勢の整備	● コンプライアンス意識の立て直し と不正防止に向けた取組み強化	● 信用リスク管理の高度化 ● 営業店業績評価の再構築 ● 人事制度の見直し ● 人材育成の強化